

大学院生シンポジウム GS03

革新的創薬・育薬を目指す若手研究者によるトランスレーショナルリサーチの最前線

Frontier of translational research by young investigators aim to innovative drug discovery and drug fostering

相澤 風花¹, 池田 祐子²

¹神戸学院大薬・臨床薬学, ²早稲田大院 先進理工学

現在我が国は、超高齢社会を迎えている。さらに、睡眠リズムの乱れ・食事の欧米化などのライフスタイルの著しい変容によって種々のストレスが蔓延している。これらの社会的変化が、うつ病・不安神経症をはじめとする神経・精神疾患や、脂質異常症・高血圧・糖尿病などの生活習慣病患者の増加につながっている。また、これらの疾患は難治化する症例も多く、病態形成・発症メカニズムの解明と新規治療薬の開発が急がれている。本シンポジウムでは、これらにつながる基礎研究をベースとして、新たなる視点からトランスレーショナルリサーチに取り組む6名を招集した。発表内容は、時間生物学、神経変性疾患、神経・精神疾患などの高次中枢に関するものから、末梢におけるトランスポーターを介したホルモン分泌の制御までにわたり、最新の研究成果をご紹介いただく。本シンポジウムが、若手研究者・聴講者たちの意見交換の場となり、さらなる研究マインドの向上および臨床へのフィードバックに寄与出来ることを期待する。